

JOCオリンピック教室の開催について

1 事業名

JOCオリンピック教室

2 事業目的

オリンピックの機運醸成を図ると共に、青少年の健全育成に寄与することを目的とする。

3 事業概要

- ・学校の通常の授業時間をベースに、運動と座学の2時限を1セットで実施する。
- ・運動の授業：専門的な技術指導ではなく、運動が苦手な生徒も参加できるよう工夫された内容。
- ・座学の授業：オリンピック出場に至るまで、あるいは実際に出場した経験を踏まえ分かりやすく伝え、生徒自身が自分のこととして捉え、今後活かせる内容。

4 対象校及び開催日時

東広島市立磯松中学校2学年4クラス（135名）

10月18日（水）10：30～15：30（3時限目～6時限目 2クラス）

10月19日（木）10：30～15：30（3時限目～6時限目 2クラス）

5 オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）

(1) 10月18日（水）

氏名：<sup>たちばな</sup>橘 雅子（水泳・シンクロナイズドスイミング）

主な成績：2005年	世界水泳選手権（チーム）	第2位
2006年	FINAシンクロワールドカップ（チーム）	第2位
2007年	世界水泳選手権（チーム）	第2位
2008年	オリンピック北京大会（チーム）	第5位

(2) 10月19日（木）

氏名：中川 真依（水泳・飛込み）

主な成績：【3m飛板飛込み】

2007年	日本選手権水泳競技大会	優勝
2016年	国民体育大会	優勝

【10m高飛込み】

2008年	オリンピック北京大会	第11位
2012年	オリンピックロンドン大会	第18位

【3mシンクロナイズドダイビング】

2011年	日本選手権水泳競技大会	優勝
-------	-------------	----

【10mシンクロナイズドダイビング】

2007年	世界水泳選手権大会	第8位
-------	-----------	-----

確認中

たちばな まさこ

橋 雅子先生【水泳・シンクロナイズドスイミング】

北京大会  
チーム 5位

小学校1年生の頃、浜寺水練学校のシンクロナイズドスイミング部のエキジビションを見て、競技に興味を持ちシンクロナイズドスイミングを始める。

四天王寺高校を経て桃山学院大学へ進学。

159cmの小柄な体ながらダイナミックな演技で2005年のモントリオール世界水泳選手権のチームで銀メダルを獲得。

その後、FINAシンクロワールドカップ、アジア大会で銀メダルを獲得その他、多くの大会で活躍し、2008年の北京大会に出場。チーム5位入賞を果たした。

現在はシンクロナイズドスイミングの指導を行い、水泳の普及、発展や後進の育成に積極的に取り組んでいる。

## PROFILE

■ 生年月日	1983年11月23日		
■ 出身地	大阪府堺市		
■ 出身校	四天王寺高校 - 桃山学院大学		
■ 主な成績	2005年 世界水泳選手権	チーム	2位
		FRC	2位
	2006年 ローマオープン	チーム	優勝
	FINAシンクロワールドカップ	チーム	2位
		フリーコンビネーション	2位
	アジア大会	チーム	2位
	2007年 世界水泳選手権	チーム	2位
	2008年 北京大会	チーム	5位



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp>

なかがわ まい

確認中

北京大会 10m高飛込み 11位

中川 真依先生【水泳・飛込み】 ロンドン大会 10m高飛込み 18位



幼少期からトランポリンを習い、小学1年生より並行して飛込みを始める。小学3年生から飛込みに専念し、中学3年生で世界ジュニア選手権に出場する等頭角を表す。高校入学後は、1年生から日本高等学校選手権大会(インターハイ)及び国民体育大会で2連覇、2年生から日本選手権大会で2連覇を達成。高校の先輩である山下美沙子選手と組んでシンクロナイズドダイビングにも取り組み、同種目では2005年世界選手権大会で9位、同年東アジア競技大会で銅メダル、2006年アジア競技大会で銀メダルを獲得。2007年世界選手権大会では8位入賞、同年の日本選手権大会で2連覇を達成。

持ち味の力強いダイナミックな演技を活かし、2008年FINAダイビングワールドカップ競技大会10m高飛込みで6位入賞し、北京大会へ出場、決勝進出を果たす。2010年には再び日本選手権10m高飛込み2連覇を達成、通算5度目の優勝を飾る。2012年ロンドン大会へ出場し、2大会連続オリンピック出場を果たす。学生生活と両立させながら競技生活を続け、2014年博士前期課程修了後、練習拠点をアメリカに移して競技に組み込み、2015年ユニバーシアード競技大会では10m高飛込み銅メダルを獲得。2016年国民体育大会での3m飛板飛込み優勝を最後に現役引退を表明。

引退後は、競技を通して得た自身の経験を活かし、ジュニアチームの指導にあたる等、競技の発展、後進の育成に尽力する傍ら、講演活動や競技解説等にも積極的に取り組みスポーツの価値や競技の魅力等を多くの人々に伝えている。

## PROFILE

■ 生年月日	1987年4月7日	
■ 出身地	石川県小松市	
■ 出身校	小松市立中海中学校 - 小松市立高等学校 - 金沢学院大学 - 金沢学院大学大学院	
■ 主な成績	【3m飛板飛込み】	
	2006年	日本選手権水泳競技大会 優勝
	2007年	日本選手権水泳競技大会 優勝
	2016年	国民体育大会 優勝
	【10m高飛込み】	
	2004年	日本選手権水泳競技大会 優勝
	2005年	日本選手権水泳競技大会 優勝
	2007年	ユニバーシアード競技大会 3位
		日本選手権水泳競技大会 優勝
	2008年	FINAダイビングワールドカップ競技大会 6位
		北京大会 11位
	2009年	日本選手権水泳競技大会 優勝
	2010年	日本選手権水泳競技大会 優勝
	2012年	FINAダイビングワールドカップ競技大会 7位
		ロンドン大会 18位
	2015年	ユニバーシアード競技大会 3位
	【3mシンクロナイズドダイビング】	
	2006年	日本選手権水泳競技大会 優勝
	2010年	日本選手権水泳競技大会 優勝
	2011年	日本選手権水泳競技大会 優勝
	【10mシンクロナイズドダイビング】	
	2005年	世界水泳選手権大会 9位
		東アジア大会 3位
	2006年	アジア選手権大会 2位
	2007年	世界水泳選手権大会 8位
	2007年	日本選手権水泳競技大会 優勝



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。  
<http://hojo.keirin-autorace.or.jp>